

I C T 授業活用教育実践

対 象	高校
教 科	家庭科 学校設定科目「色彩とデザイン」
単 元	配色技法 対象別の配色演習
ねらい	カラーコーディネートをする際の基本的な配色技法について、理論と演習を通して身に付けさせる。配色演習で制作した作品をミラーリング出力し、プレゼンテーションを行う。
I C T 環境 (授業で使用した機器)	iPad プロジェクタ Apple TV
利用したデジタル教材 (アプリ、サイトのアドレス、資料など)	iPad アプリ「Color Palette」 https://itunes.apple.com/jp/app/karapareto/id348648119?mt=8
授業での I C T 機器の活用 方法と手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 AppleTV とプロジェクタを接続させる。 2 iPad アプリ「Color Palette」をタップして起動する。 3 カラーピッカーやパレットを活用して様々な配色演習を行う。 4 カラーパレットのスケールを調整し、明度、彩度などの色調を補正する。 5 教師用の画面から生徒用の画面への切り替えを行い、生徒の演習作品をミラーリング出力し、プレゼンテーションする。
授業の工夫 (ポイント)	<p>Apple TV を介することで、無線 LAN 環境で iPad とプロジェクタの接続ができるため、教師は iPad を手に持ちながら自由に机間指導ができる。</p> <p>また、Apple TV を介して教師用 iPad と生徒用 iPad を何度も切り替えミラーリング出力することにより、効率よく授業を進めることが可能である。</p> <p>さらに、生徒が配色演習で制作した作品を順番にミラーリング出力し、その場ですぐに自分の作品をプレゼンテーションできる点が大変効果的である。</p>
生徒の感想 など	<p>タッチ操作一つで配色変更や明度・彩度の調整が可能であるため、PCCS の配色カードを活用したアナログの配色演習に比べ、手軽に楽しく配色演習を行うことができた。</p>

実践例

配当時間		学習の進め方	指導のポイント
導入	5分	1 学習内容の把握 ・ iPad を起動する。 ・ 「Color Palette」 を起動する。 ・ 本時の学習内容を知る。	・ 前時に保存した画像を確認させる。 ・ 住宅とフラワーデザインの作品例を参考にし、配色演習をさせる。 ・ 演習課題は、iPad 本体に保存させる。
展開	43分	2 住空間の色と配色 ・ ベースカラーとアソートカラー、アクセント効果による配色 演習1 「モダン」 なリビング 演習2 「エレガント」 なリビング 3 フラワーデザインの色と配色 ・ ドミナントカラー配色 演習3 「ウェディングブーケ」 ・ ドミナントトーン配色 演習4 「普段使いのアレンジメント」	・ 住宅の外装を例に面積比等について説明する。 ・ 教師の iPad 画面を投影する。 ・ リビングの配色演習に取り組みさせる。 ・ 演習1はカラーピッカーを使用させる。 配色：FL-3・dp2・BR-6 ・ 演習2は Crayons パレットを使用し、明度・彩度を確認させる。 配色：Melon・Blue Bell・Cotton Candy ・ 代表生徒に発表させる。生徒の iPad 画面に切り替え、投影させる。 ・ 教師の iPad 画面に切り替え、投影する。 ・ ドミナントカラー配色に、アクセントカラーの挿入効果を説明する。 ・ ドミナントトーン配色に、別のトーンを加えることによる効果を説明する。 ・ 代表生徒に発表させる。生徒の iPad 画面に切り替え、投影させる。
まとめ	2分	4 本時の学習内容の確認 ・ 「Color Palette」 を終了する。 ・ iPad の電源を切る。	・ iPad アプリを活用することにより効果的に配色演習を行うことができたか。

評価

生徒について	生徒の興味・関心	スマートフォンを使用している生徒もおり、タブレット端末を活用した授業実践については、生徒の興味・関心を引き出すきっかけとなった。
	生徒の理解	iPad のタッチパネルは、操作性が非常にシンプルで直感的であるため、理解度も高い。
	生徒の情報機器の活用度	スマートフォンの普及効果もあり、iPad の活用、Apple TV を介してのミラーリング出力についての抵抗はなく、活用度は高くなると思われる。
授業について	事前準備の難易度	演習で使用する画像を生徒用 iPad に保存させた。別のアプリを活用して表示したイメージ画像をスクリーンショットとして、各自の iPad に保存させたが、操作に戸惑う生徒はおらず、事前準備の負担も少ない。
	指導者にとっての授業展開の難易度	日常的に iPad やアプリを活用しているかという観点も含めて、指導者はそれらの操作にまず慣れておくという点が重要であり、個人差がある。
	授業の「ねらい」の設定は適切であったか	楽しく手軽に配色技法を学ぶことができ、配色の変更、色調調整もスムーズであり、時間短縮につながった。
	効果的な指導方法であったか	iPad と Apple TV、大型ディスプレイまたはプロジェクタという3点の情報機器がそろっているからこそ、効果的な活用ができる。

<実践の感想及び反省点等>

タブレット端末と投影装置の無線環境での活用により、教師からの提示だけでなく、その場で生徒からフィードバックされた情報を即座に共有できる点が最大の魅力であり、興味・関心を深めることができる。